

# ドレミファ・フロイデ

2025年2月25日  
第271号

一般社団法人 東京フロイデ合唱団  
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 1-42-7 第2 東ビル 101  
電話 03-5940-0731 / ファクス 03-6304-1688  
メール [freude@td8.so-net.ne.jp](mailto:freude@td8.so-net.ne.jp)  
ホームページ <https://www.tokyofreude.org>



## 新風を吹き込め ～新入団員ガイダンス～

2月4日(火)「第九」練習終了後に、新入団員に対するガイダンスが行われました。今年は28名の新入団員の登録がありましたが、当日のガイダンスには23名が参加しました。

馬場副団長の司会で終始和やかな雰囲気のもとで進められました。まずは、矢野団長から励ましの挨拶がありました。続いて、組織部から、練習時の注意事項や楽譜の使い方など細かい説明がありました。また、広報部より機関紙「ドレミファ・フロイデ」へ投稿して一日も早く合唱団になじんで欲しいと、執筆要領等を配布して依頼がありました。



今回は先輩団員であるテノールの月山良明さんとアルトの田附りかさんのお二人からお話をいただきました。日々の練習の大切さや楽しさ、第九演奏会の本番に初めて参加した時の感動など、興味深い話をいただきました。身近な先輩団員お二人の話を真剣に聞き入っていました。

最後に新入団員全員に入団のきっかけや練習の感想など自己紹介をしていただきました。来週からの練習にむけてお互いに頑張りを確認することができ、何よりも「第九」を通して仲間作りのきっかけがもてた「新入団員ガイダンス」になりました。

## 東京フロイデにようこそ 新入団員メッセージ ①

### 「第九」に導かれて

(B) 河村 篤毅

第九を初めて聴いたのは、中3の夏でした。あまりの感動に、「僕も歌いたい!」と、早速スコアと独和辞典とLPレコードを買ってきて、受験勉強そっちのけで、繰り返しレコードに合わせて歌いました。あれから60年近く、何度歌っても毎回新しい発見があります。第九は“汲めども尽きぬ泉”です。今回はどんな気付きが得られるか楽しみです。Durch Leiden Freude! 敬愛するベートーヴェンの言葉を胸に頑張ります。

### 声を出して整える

(A) 岸部 清美

合唱は中学生以来の自分が、ベートーヴェン「第九」合唱に参加する”アチラ側の人”になってみるのもいいかもと思ったのが2024年。地元の第九に参加後の今でも”コチラ側の人”ですが、オペラの楽曲にも関心が及び楽しみが広がっています。東京フロイデ合唱団に参加する機会を得て、先生方のご指導の下、あやしいドイツ語もできるだけ正しくできるよう精進いたします。

## はじめて第九を歌ったとき

(T) 宍戸 正和

私ははじめて第九のコーラスに参加したとき、メロディも歌詞もわからず、声を出すのも怖くて、後ろの方で歌っていましたが、ベテランの人から「初心者はパートの真ん中に行って、後ろの人の声を聞くといいよ」などと言われました。前日の本番指揮者（ドイツ人）との練習で、「Freude」の一声でダメ出しをされ、「皆さんは歌詞の意味がわかっていますか」と、みっちり歌詞の意味を教えていただき、当日は無我夢中で歌ったことを懐かしく思い出します。

## ステージで「第九」を歌う

(S) 森田 千幸

今まで、先輩や友人にフロイデ入団を誘われ、また芸術劇場での「第九」を数回聴かせていただきました。ちょうど、今まで在籍していた合唱団が秋にコンサートをを行い昨年末にて卒業解散となりました。さて、今年からは合唱関係はどうしようと、やっぱりあの「第九」を歌えるようになって舞台上で皆さんと歌いたい!と思いました。富澤先生のご指導、魅力的で、また合唱団の運営組織がしっかりされていて、また皆さんが新入団員を包み込むような雰囲気、素敵です。覚えるのはゆっくりになりそうです。

## 感動を求めて

(A) 竹田 佐登子

歳を取るにつれ、感動することや、達成感を味わう機会が少ない中、東京フロイデ合唱団は、その2つを味わわせてくれるのではないかと思います、入団しました。

ドイツ語やイタリア語で歌詞を覚え、また、メロディを覚えるのは相当大変なことだと思いますが、先生方の丁寧で楽しいご指導のもと、自分にも出来ると信じて頑張りたいと思います。

## 久しぶりの「第九」にチャレンジ

(A) 豊田 美代子

私は富澤先生が音楽を語る姿のファンで、退職後、友人に紹介していただき、富澤先生がご指導下さっている合唱団に入れていただきました。そしてその合唱団に、このフロイデに所属している方がいらして、今回ご紹介いただき、入団させていただきました。

学生の頃、楽器で第九に挑戦した経験がありましたので、その後合唱も歌いましたが、随分昔なので、今はご迷惑をかけないように頑張らなければ…とされているところです。

## 私も「第九」を歌います

(S) 佐藤 由美子

母が「昔第九を歌った」と楽しそうに話しているのを何度も聞き、私も歌ってみたいと参加致しました。まだ、練習に参加して1ヶ月ではありますが、素晴らしいご指導のもと、経験者の皆様と歌えて、本当に楽しいです。本番までにはきちんと歌えるよう頑張りたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

## 夢の一步

(A) 中村 直子

いつか、第九を歌ってみたいと思っていましたが、こちらに入った事が夢への一步と考えていました。しかし、先生方の迫力のある熱心なご指導に中々ついていけず、発音を聞いてもすぐ忘れてしまうあり様です。皆様は、立派に歌っていらっしゃるのに、今、どこを歌っているのか？探す事だけで、時間は過ぎてしまいます。情けない事です。どのように練習したら、皆様のように歌えるのか？四苦八苦しております。そんな私ですが、大丈夫でしょうか？

1月から、新に運営委員として、テノールの柴崎洋介さんとアルトの長野江理子さんが加わりました。プロフィールは来月号に掲載します。しかしながら、

運営委員は高齢化が進んでいます。

合唱団を支えていただく方々の積極的な応募をお願いします。

## 緊急時連絡先(本人)へのテスト連絡の実施について (一部秋期練習参加者を含む)

先ごろ実施しました「緊急時連絡先アンケート」にご協力いただきありがとうございました。つきましては提出いただいた連絡先に下記の要領で「テスト連絡」を実施します。ご自身が選択した連絡方法を確認ください。「テスト連絡」は下記の運営委員が担当しますのでよろしくお願い致します。

なお秋期練習参加者の内、②LINE選択者の方及び③携帯ショートメール選択者にはシステム上「テスト連絡」が送られますのでご承知おきください。

- (1) 実施時期 3月24日(月)～26日(水)の3日間
  - (2) 実施方法 ①～④に登録した連絡先に「テスト連絡」を送ります。
    - ① メール・・・・・・・・・・・・・・・・ 48名 担当：馬場
    - ② LINE・・・・・・・・・・・・・・・・ 41名 担当：矢野、竹井
    - ③ 携帯ショートメール・・・・・・・・ 34名 担当：柴崎
    - ④ 携帯電話に直接電話・・・・・・・・ 7名 担当：木村
- ※①、②、③については届いたら「見た」の返信をお願いします。

\*\*\*\*\*

## 演奏会への出演条件について

ホームページ等では以下の条件を掲示しています。

演奏会に出演するためには、原則的に以下の条件があります。

- ①練習への出席率が毎月50%以上であること
- ②12/4オーケストラ合わせ、12/7演奏会当日のリハーサルに参加すること

2月の運営委員会で今までの出席率実績を見ながら意見交換し、①については以下の通り運用することとしました。

**練習への出席率が毎月50%以上であること」とした出席率条件については、  
「アイダの練習が始まる4月から適用」する。**

今年の演奏会で歌う「アイダ」は過去に選曲したものと比較してもかなり手強い曲ですから、毎回の練習に参加し、更に自習もしながら体得する必要があります。出席率50%はそのための最低限の出席率と考えます。東京フロイデ合唱団は練習を通して曲作りをすることを最も重視しています。今迄に欠席の多かった方はこの点をよく考えて練習に参加して下さい。チケットを購入して聴きにきて頂くお客様の前で立派な演奏をするためにも、出席率50%以上を最低限として練習しましょう！

## スコアメーカーのデモンストレーション

2月10日(月)の練習後、歌劇アイダの「凱進行曲」について、スコアメーカーのデモンストレーションが行われました。当日は、プロジェクターを使って、具体的な操作方法について説明がありましたが、当合唱団のホームページに掲載しています。パソコンやスマホで、是非ご活用ください。

## 歌劇「アイダ」について

今年の第 25 回演奏会の第 1 ステージで歌劇「アイダ」の中から「凱進行進曲」を歌いますが、その背景を理解していただく意味であらすじをご紹介します。

### 【第 1 幕】

時は古代エジプト、エチオピアは強大なエジプトとの戦いに敗北を重ねながらも独立のために戦っています。エチオピアの王女アイダは、エジプトの捕虜となっていました。身分を偽ってエジプトの王女アムネリスの奴隷として身の回りの世話をしています。そしてアイダは、エジプトの将軍ラダメスと秘かにお互い愛し合う仲となっていました。

エチオピア軍がエジプトに迫るとの噂が伝わってきます。ここで、ラダメスはエチオピア軍を迎え撃つ指揮官となって軍人としての栄光を獲得し愛するアイダを故国に返して幸せにしたいと願い、未来を想い憧れ歌うアリアが「清きアイダ」です。そんな中、エジプト王は、イシスの神のお告げとして、ラダメスをエチオピア討伐の指揮官に命じます。アイダは恋人への愛とラメダスが父（エチオピア国王）と戦ってしまうことに葛藤を生じて思い悩むのでした。

### 【第 2 幕】

一方、エジプトの王女アムネリスもラダメスのことを愛していました。彼女は、戦場に向かったラダメスを心配する侍女のアイダを見て、恋敵であることを確信しました。

戦いはエジプトの大勝利に終わり、ラダメスは軍勢を率いて凱旋します。この時歌われるのが、私達が今年の演奏会で歌う「凱進行進曲」です。

エジプト国王は凱旋したラダメスに、娘のアムネリスを与え、将来自分の後を継ぐように言います。アムネリスは喜んだものの、ラダメスは困惑し、そしてアイダも悲しみに暮れるのでした。

### 【第 3 幕】

戦いでエジプトの捕虜となった者の中に、エチオピア国王のアモナズロが身分を隠して加わっていました。アモナズロは娘のアイダに、ラダメスからエジプト軍の機密情報を聞き出すように命じました。アイダはラダメスに、「私を愛しているのなら、国を捨てて二人で一緒に逃げて」と誘います。ラダメスが思いを同じくしてエジプト軍が配備されていない秘密のルートをアイダに伝えたそのとき、この話をこっそり聞いていたアモナズロが、自分がエチオピア王であることを明かし、その秘密のルートからエジプトを攻めようと言い出します。ラダメスは祖国を裏切ったことに気づき後悔します。そこへアムネリスが現れたのですが、ラダメスはアイダとその父を逃がしてやりました。

### 【第 4 幕】

軍事機密を漏らしたラダメスは捕らえられ死罪となります。彼の命だけは救いたい王女アムネリスは、アイダへの思いさえ捨てれば命を助けると彼に言います。しかし、ラダメスはそれを断り、死を覚悟しました。ラダメスは地下牢に生き埋めとされます。その暗闇の牢に、なんとアイダの姿がありました。彼女は牢が閉じられる前に忍び込んでいたのです。そして「あなたの腕の中で死にたい」と言います。再会を果たした二人は天国で結ばれることを約束し、死と愛の甘美な状況で愛の二重唱「さらばこの世よ、涙の谷よ」を歌いながら死んでいきます。

歌劇アイダのライブビューイングが可能です。  
ご興味のある方は下記よりご覧ください。  
上映映画館が掲載されています。

<https://www.shochiku.co.jp/met/program/6005>

